

令和2年 11月 9日 11時 00分 ~ 12時 00分 於:曾我部町自治会館

司会 亀岡清泉荘 代表 松野 記録 亀岡清泉荘 代表 松野

出席者 南部地域包括支援センター・西村さま、南条区長・澤さま、民生委員後藤さま、並河さま、利用者さまご家族・酒井さま 亀岡清泉荘・長尾、李原

欠席者 亀岡市高齢福祉課・土川さま、リンクす・吉川さま、長澤さま、上野さま

1. 11月9日現在の利用者さまの状況（別紙参照）
小規模多機能ホーム登録利用者さま：25名、グループホーム登録利用者さま：9名
小規模多機能ホーム及びグループホームの利用状況、報告事項等
2. 利用者さまの地域について（別紙参照）
3. 職員体制（別紙参照）
4. 事業活動について（別紙参照）
5. 事業所内の活動について（別紙参照）
6. 今後の予定（別紙参照）
7. 小規模多機能ホーム 外部評価 意見交換
9. その他

質問・要望・助言	回答・対応
<p>コロナ感染が拡大している中で、事業所としてどのような対策、環境整備を行ってきたか。</p>	<p>手洗いうがい、消毒の徹底から、各種備品（消毒用アルコール、除菌布巾、アクリル板、フェイスシールド、オゾン発生器）などを整備してきた。また、亀岡でクラスターが発生したときは職員にも外出、会食などの強い自粛を要請したこともある。</p>
<p>コロナ感染が収まらない中、利用者や家族がデイサービスを控えるようなことはなかったか、また家族が、デイサービスに行かせるかどうかの判断材料がなくて困っているケースがある。また、利用を休まれた後のフォローも必要と考えるが、どのようにしているか。</p>	<p>一部の利用者さまが感染リスクを懸念して1か月前後お休みになったことがある。 デイサービス利用については、書面で発熱や風邪症状などを提示して利用の可否を判断していただくようにはしている。ただ、ご家族がどのような場合にどのような判断材料が必要かは確認できていない。今後ご家族に判断に迷われることがないか、どういう情報が必要かなど確認していきたい。 利用を休まれている時は、訪問などに切り替えてご家族、利用者さまとコンタクトをとるようにしている。状況確認も含めて適宜コミュニケーションを密にするようにしていきたい。</p>
<p>コロナ禍も第三波など騒がれており、さらにこの状況があと1～2年は続くことも想定できる。感染予防は手洗いが基本であるが、手づかみで食べる人たちが増えている。特に若い世代</p>	<p>ホームでも利用者さま、職員すべてに感染予防の基本の徹底を図り、かつ周囲の関係者にも啓発をしていくようにしたい。</p>

<p>には多く、心配している。昔からあった感染予防の習慣などに立ち戻って啓発していくことが大切だと思う。</p>	
<p>事業所内でクラスターが発生した場合の対処法などは考えているのか、もし発生した場合はかなり運営に支障をきたすことになると思う。</p>	<p>クラスターが発生した場合、デイサービスは2週間の営業停止を行い、その間に職員の検査を行い、陰性の職員が出勤、訪問介護サービスなどを行う。その上で、2週間後に営業再開しているケース京都市内にある。そういったケースの情報をもとに、体制を整えていきたい。また、小規模多機能、グループホームは別々の事業所で職員も別であることから、相互に協力し合いながら対応していきたい。</p>
<p>事業所でクラスター等が発生した場合は、保健所の指導が入る。事業所はそれに従って対応することになる。</p>	<p>事業所としては、感染者発生直後に濃厚接触者が洗い出せるように情報管理をしている。9月ころにデイサービス利用者のお迎えで38.1℃の発熱があった利用者には当日サービスは中止し、翌日訪問で検温しても38℃であったので、市内の病院でPCR検査を受けてもらった。結果がでるまでに事業所では運転者、入浴介護者、その他濃厚接触者と推定できる職員について、介護記録をもとに洗い出しリストを作成した。PCR検査の結果が陰性であったので、よかったが。今後も感染者発生に備えて必要な情報について洗い出せるようにしておく。</p>
<p>感染症もストレスが原因となって罹患することも考えられる。ストレス対策も必要と考える。</p>	<p>事業所として、ストレスチェックの導入を検討しており、年度内に実施する方向で予定している。職員のストレスも相当程度の負荷になっていると考えており、その他の方法も研究していきたい。</p>
<p>次回、運営推進会議はその時点の状況をみつつ、1月開催の予定で、調整を行います。</p>	